

平成 27 年度 学校 自己 評価 システム シート (秀明大学学校教師学部附属 秀明八千代中学校)

目指す学校像	常に真理を追究し、友情を培い、広く社会に貢献する人間形成を目的とする
--------	------------------------------------

重点目標	1 父母の教育信託に応える教育を行う。 2 生徒に学んだ満足感を与え、次の授業を期待する気持ちを持たせる。 3 生活指導の徹底
------	---

達成度	A	ほぼ達成 (8割以上)
	B	概ね達成 (6割以上)
	C	変化の兆し (4割以上)
	D	不十分 (4割未満)

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。

※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

学 校 自 己 評 価			
年 度 目 標		年 度 評 価 (3 月 31 日 現 在)	
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策
1	学園創立者の教育理念を理解し、魅力あふれる学校づくりに専念するために、以下の項目について、より一層徹底する必要がある。 ①千日修業「人間として、一生を生きていくための確かな学習や生活習慣の基礎となる力を身につける」の目的を理解させ、「秀明エリート」を育てる。 ②学校と家庭との「共育」「協育」を進める。	学習指導の充実	<ul style="list-style-type: none"> 授業、課題、過去問題演習、個別指導など、秀明独自の「きめ細かく面倒を見る学習指導」を行う。 週末課題を教科担当者だけではなく担任も把握し、未提出者に対する指導する。 下位生徒に対しての放課後補習で確認テストの反復演習する。また、土曜特別補習(午後)への参加を奨励する 個別指導で得意科目をなくさせる。
2	生徒に学んだ満足感を与え、次の授業を期待する気持ちを持たせるために、以下の項目について更に推進する必要がある。 ①生徒のどんな質問にも対応できる教科指導力を教員は身につける。 ②定期テスト、検定テストへの取り組みを重視する。	授業の改善と指導力の向上	<ul style="list-style-type: none"> 授業アンケートを実施しその結果について改善方法をレポートで提出。 研修授業は必ずテーマを明確にして行う。「生徒の気づきや発見を生かし、理解につなげる授業の工夫」「生徒の思考力を育てる授業の工夫」 毎週1回以上、他の教員の授業を見学し、その記録をとる。 担任面談で定期考査ごとの目標を明確に持たせる。
2	各学年で取得目標級を定めているが、より多くの生徒を積極的に資格試験に挑戦させ、上位級を取得させる必要がある。	資格試験	<ul style="list-style-type: none"> 授業中に過去問題演習を徹底させる。 放課後に特別講座を設ける。 土曜特別指導を有効に活用して指導を強化する。 各HRでの目標を定め、担任が責任を持って指導にあたる。
3	学校生活をよりよくするために、以下の項目について徹底する必要がある。 ①基本的な生活習慣の確立 ②5つの約束(お酒を飲まない、たばこを吸わない、盗みをしてはいけない、暴力をふるわない、不純異性交遊をしない)の厳守 ③「心の学習」の充実	生活指導の充実	<ul style="list-style-type: none"> 頭髪・身だしなみの指導は、学年全体で行う。 いじめは、生活アンケートや面談の実施により、防止に努める。 「善いことと悪いこと」「許せることと許せないこと」の区別をしっかりとつけさせる。 新聞記事を使い、正しい判断力・思考力を身につけさせる。 学年会を定期的に行い、生徒について共通理解を図る。

学 校 関 係 者 評 価
実施日 平成 28 年 3 月 12 日
学校関係者からの意見・要望・評価等
<ul style="list-style-type: none"> ・父母会、授業公開、三者面談を定期的実施している。 ・家庭との連携を密にしており、学校と保護者が協力して共に育てる体制になっている。 ・成績が上位の生徒だけでなく、下位の生徒にもきめ細かな指導をしている。 ・「面倒見のよい学校」「学力を伸ばす学校」として評価できる。
<ul style="list-style-type: none"> ・年間5回もの授業アンケートが実施され、その結果に基づいて授業が改善されている点が良い。 ・年間2回以上の研修授業が実施され、自己研鑽に努めていることは評価できる。 ・自分の教科だけでなく、他教科の授業参観も数多く実施されている点も評価できる。
<ul style="list-style-type: none"> ・各学年で目標級を定め、過去問題演習を繰り返し、合格率を伸ばしている。 ・学年の目標級に合格した生徒には、さらに上位の級を目指させ、ほめる指導ができていていることが評価できる。
<ul style="list-style-type: none"> ・全教員が同じ基準で身だしなみの指導を行い、成果が出てきている。 ・今後もアンケートを定期的実施し、生活上の問題を早期発見できるよう努めてほしい。